

## 「ストップ！児童労働」を願う全国44万人の声。

### 外務省政務官が署名を受理、「児童労働は重要な問題」との認識を示す。

世界の児童労働問題の解決に日本から貢献することを目指す**児童労働ネットワーク**（略称CL-Net/代表堀内光子 文京学院大学大学院特別招聘教授）は、8月25日（月）午後4時30分より、木原誠二外務大臣政務官に面会し、**全国から寄せられた「ストップ！児童労働」を願う44万人の署名**を提出しました。

木原政務官は、「児童労働は重要な問題である」との認識を示したうえで、「貧困、初等教育、家庭、企業のサプライチェーンなどの課題とも関わりがある。今後ポストMDGsの中で、どう焦点をあてられるか、意識しながら議論に参加していきたい」と述べました。

この署名は、「**1.地球規模問題の解決を目指し国連で新たにつくる目標の中に、児童労働の撤廃が含まれるよう提言する**」、「**2.児童労働撤廃に向け、日本の関係者が定期的に集う会議を設ける**」ことを6大臣（内閣総理大臣、内閣府特命担当大臣、外務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣）に求めるものです。今年約3カ月の署名活動をへて、8月21日時点で**全国47都道府県から44万2282筆の署名**が集まりました。2008年に開始した署名活動は年々筆数を増やし、今年で累計**120万筆**を超えました。世界の児童労働撤廃に向けた日本政府の取組みの強化を求める声がますます高まっています。

2015年に期限を迎えるMDGs（ミレニアム開発目標）の後の新たな開発目標の議論は、いよいよ総会に移ります。このポストMDGsの検討に統合されるSDGs（持続可能な開発目標）を議論したOpen Working Groupは、13回の会合を重ねた後、今年7月19日に最終提案をまとめました。SDGsの最終提案は、17の目標と169の指標からなり、児童労働は**目標8：持続的、包括的で持続可能な経済成長及び完全に生産的な雇用とディーセント・ワークの促進**のもとに、**指標8.7 最悪の形態の児童労働の禁止及び撤廃を確保するための即時の効果的な措置をとり、強制労働を撤廃し、また2025年までに子ども兵士の徴兵・使用を含むすべての形態の児童労働を終焉させる**と、含まれています。今後この児童労働撤廃のコミットメントが、2015年の国連総会で最終的に採択されるよう、児童労働ネットワークは日本政府に国連にてこれを支持する積極的な発言を求めます。

Open Working Groupの最終提案：<http://sustainabledevelopment.un.org/owg.html>



外務大臣政務官（中央、左より4番目）へ署名を手渡す CL-Net 代表団



全国から寄せられた署名（一部）



●**児童労働とは**

子どもの健やかな成長を妨げる「児童労働」。世界では**1億6800万人**（国際労働機関、2013年発表）、5歳から17歳の子どもの9人に1人が苛酷な児童労働についています。人身取引、強制・債務による奴隷的な労働、子ども兵士やポルノ、危険有害労働などの「最悪の形態の児童労働」に限定しても8500万人もいます。子どもたちは、教育の機会を奪われるだけでなく、経済的・性的搾取や健康被害に遭い、時には命を落としています。これは、子どもの権利の重大な侵害です。

一方で、良いニュースもあります。世界中で取組が進んだ結果、2000年当時と比べて児童労働者数は3分の2に減りました。これは、関係者が協力して取り組めば、児童労働の問題は解決できることを示しています。

●**ストップ！児童労働 キャンペーンとは** <http://cl-net.org/campaign2014/>

児童労働のない世界を目指してCL-Netが2006年より主催する、啓発・政策提言のキャンペーンです。①児童労働という言葉を知っている人が増える、②児童労働解決のために市民が行動を起こす、③日本政府による児童労働撤廃に向けた取り組みが強化・促進されること、が目的です。

2014年は6月1日から7月13日まで実施し、「ストップ！児童労働 30万人署名」のほか、「レッドカードアクション」を行いました。

○**レッドカードアクションとは**

6月12日は、児童労働反対世界デー（国際労働機関・ILO 制定）です。今年**FIFAサッカーワールドカップ**が同日に開幕することを受け、国際労働機関(ILO)が世界的に展開する「**児童労働にレッドカード・キャンペーン**」に賛同し、カードを掲げて写真を撮るアクションを日本全国に呼びかけました。

**714枚**の写真が集まり**9,210名**がアクションに参加、Facebookでは**約14万人**にリーチしました。



レッドカードアクションの写真はこちらからご覧いただけます。

<https://www.flickr.com/photos/123985557@N05/>

○**過去（2008年～2012年）の署名筆数及び提出先**

	署名筆数	累計	提出先
2008	12,004	12,004	外務省（小野寺副大臣）
2009	74,396	86,400	外務省（福山副大臣）
			文部科学省（川端大臣） 厚生労働省（細川副大臣）
2010	200,036	286,436	外務省（伴野副大臣）
			文部科学省（笠政務官） 厚生労働省（小宮山副大臣）
2011	212,346	498,782	外務省
			文部科学省（森副大臣） 厚生労働省（小宮山副大臣）
2012	285,140	783,922	内閣府（少子化対策）（小宮山大臣）
			外務省（加藤政務官）
			文部科学省（城井政務官）
			厚生労働省（小宮山大臣） 経済産業省（柳澤副大臣）

● **児童労働ネットワーク（CL-Net）とは**  
[www.cl-net.org/](http://www.cl-net.org/)

児童労働の問題解決に日本から貢献することを目指すネットワークです。現在、児童労働問題に取り組む**22のNGO・労働組合**と**9個人**が会員として参加しています。本キャンペーン等を通じて、意識啓発、世論喚起、ネットワークング、アドボカシー等の活動を行っています。

●**お問い合わせは、事務局まで**

児童労働ネットワーク(CL-Net)事務局  
電話：03-3835-7555 FAX：03-3835-7601  
担当：植木、岩附 Eメール：info@cl-net.org